

葬儀について

葬儀の規模・形態について

- お世話になった友人・知人来てほしい 家族葬(身内だけの葬儀)がよい
 最低限(火葬のみ)でよい その他()

そう思う理由・特記事項

宗教・宗派について

- 下記の宗派で行ってほしい 無宗教で行ってほしい

宗旨宗派：

寺院・教会名：

担当者：

連絡先：

布施(謝礼)：

戒名・法名について

- 受戒済() まだ受戒していないが授かりたい
 戒名はいらない その他()

備考：



ここがポイント!!

菩提寺がある場合は必ず相談を

檀家と菩提寺の関係は、その宗派の教えと儀礼を信じて宗教儀礼を依頼し、また寺院の維持を履行する関係です。ですから、安上がりだからといって、菩提寺の了承を得ないで他の寺院や葬儀社に儀礼を依頼して納骨だけを依頼する。ということは筋が通らないことであり、納骨を拒否されるというトラブルになる場合もあります。

どうしても菩提寺に葬儀を依頼できない事情がある場合は、他寺院でおこなうことを了承してもらい、紹介をしてもらうなど、事前に相談をしておくことが大切です。



ここがポイント!!

お布施の金額は率直に聞いてみよう

宗教者へのお布施を、「いくら包めばよいのかよく分からない」というのはよくある悩みですが、身近に詳しい方がいない場合は、依頼する宗教者に率直に聞いてみましょう。「お気持ちで結構です…」と返答される場合もありますが、「失礼にならないようにしたので…」と粘り強く聞き出しましょう。

不安が解消できればお互いにとって良いことですし、このような質問をすることも、決して失礼にはあたりません。

葬儀について

喪主をお願いしたい人

氏名：

間柄：

葬儀社について

決めていない・調べていない

決めている → 生前予約している

特に希望はない

その他()

葬儀社名：

担当者名：

連絡先：

葬儀会場について

下記の場所でおこなってほしい

特に希望はない

会場名：

住所：

葬儀費用について

用意していない

私の預貯金からで支払ってほしい

()が受取人の死亡保険金で支払って欲しい

その他()



葬儀社に見積りをしてもらっている ⇒ 見積り額：約_____万円

見積りはしていない ⇒ おおよそ_____万円くらいの予算でしてほしい

無理のない範囲で構わない

家族の判断に任せる



ここがポイント!!

必ず葬儀社に見積もりを依頼しよう

葬儀には、祭壇の費用、式場・火葬場の利用料、饗応の料理代、心付けなど、様々な名目で多額の費用がかかります。料理代・ドライアイス代など、状況によって変動する費用もあるので葬儀社に見積りを依頼し、詳細について、ひとつひとつ説明を受けましょう。

見積りや相談は複数の葬儀社に依頼し、納得できるプランを提示してくれるところを選びましょう。

見積書や生前予約契約書は、このノートと一緒にファイルしておくといよいでしょう。

葬儀について

供物・供花・香典について

- いただく 辞退する
- 家族の判断に任せる その他()

遺影について

- 使ってほしい写真がある 特に決めていない

保管場所：

棺に入れてほしいもの

- 入れてほしいものがある 特に希望はない

名称： 保管場所：

火葬場への連絡事項

- ペースメーカーが入っている チタン等の人工関節が入っている



ここがポイント!!

遺影用の写真は事前に用意しておこう

普段、自分の写真を撮る機会が少ない方もおられるでしょう。そのような方が亡くなると、遺影に適した写真がなく、集合写真から切り抜いて拡大した不鮮明なものや、免許証の証明写真しか準備できない、といった事態も起こりえます。

日頃写真を撮る機会がない、適当な写真がないという方は、一度、プロのカメラマンに依頼して写真を撮っておきましょう。

遺影用というと気が重いかもしれませんが、家族の記念写真の撮影を兼ねておこなえば思い出作りにもなりますし、気軽に撮影できるのではないのでしょうか。



ここがポイント!!

火葬時の注意事項

棺に愛用の品、思い出の品を入れたいという希望がある場合、何でも入れられるわけではないので注意が必要です。例えば、メガネやゴルフクラブのような金属、スイカやメロンなどの燃えにくい大型の果実、ダイオキシン等の有害物質が発生する物などは、棺に入れることが禁止されています。

また、ペースメーカーは火葬中に爆発の危険があったり、人工関節は燃え尽きずに残る場合がありますので、安全のため、事前に火葬場に申告が必要です。

該当する場合は、前もって葬儀社の担当者に伝えておきましょう。

お墓について

遺骨の取扱いについて

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 家の墓に埋葬 | <input type="checkbox"/> 永代供養墓・納骨堂へ埋葬 |
| <input type="checkbox"/> 散骨 | <input type="checkbox"/> 樹木葬 |
| <input type="checkbox"/> その他() | <input type="checkbox"/> 家族に任せる |

お墓の場所

- | | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 購入・契約済(先祖代々の墓を含む) | <input type="checkbox"/> 購入・契約はしていない |
|--|--------------------------------------|

名称：

連絡先：

住所：

使用权者：

管理費等：

備考

散骨を希望する場所

場所：



ここがポイント!!

遺骨の取扱いは家族とよく相談しよう

遺骨をどのように供養するかは、原則として遺族の自由な意思で決めることができます。もし、**自身の遺骨の取扱いに希望があるのであれば、永代供養料や管理費などの金銭的負担や手続き的負担をよく考慮し、想いを託す家族としっかり相談しておきましょう。**

先祖代々のお墓も遠方であればお参りすることが難しくなります。近くの墓地や納骨堂へ**改葬**することを検討しているのであれば、菩提寺の住職や墓地の管理者に相談を試みましょう。

樹木葬は、墓地として整備・登録された場所でしかおこなえません。勝手に自宅の庭や野山に遺骨を埋めれば法律違反になります。希望がある場合は専用の墓地と契約する必要があります。樹木葬墓地は交通の便が悪い郊外にある場合が多いので、お参りがしにくい点を考慮する必要もあります。

散骨は、専門の業者に依頼し、遺骨を粉状に加工したうえで、船で沖合に出ておこないます。**(日本国内の陸上では行えません。)**業者に支払う費用はかかりますが、墓地・墓石の購入費などがかからない点がメリットです。しかし、お参りをする場所がないという問題がありますので、家族の意見も聞きながら判断しましょう。